

令和8年度 東陽小中学校 学校経営ビジョン

校訓

自主 協働 創造

学校教育目標

「もとより もっと」を追究 ～なりたい自分になろう～

めざす児童生徒像

自分の力で最後までやりとげる子
互いの良さを認め合い、仲間と共に粘り強く追究する子
ふるさとに誇りをもち未来を創り発信する子

めざす教師像

学び続け、自己を高める教師
チームで支え合い、組織的に動く教師
工夫と挑戦で教育を創り出す教師

めざす学校像

一人一人に居場所があり、安心安全に過ごせる学校

6 学校経営の重点

①確かな学力

- ・児童生徒一人一人が主体的に学び、対話を通して理解を深める「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進する。
- ・ICT を効果的に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図る。
- ・基礎・基本の確実な定着を目指し、家庭学習の充実に取り組むとともに、授業評価や学力調査の結果を分析し、継続的な授業改善につなげるサイクルを確立する。

②豊かな心

- ・異学年交流によるリーダー性の育成を図り、自己肯定感や自己有用感を高める取組を推進する。
- ・道徳教育の充実を基盤とし、体験活動や協働的な活動を通して、思いやりや規範意識を育成する。
- ・いじめの未然防止に努めるとともに、早期発見・早期対応を徹底し、安心して学校生活を送ることができる環境を整える。

③健やかな心と体

- ・基本的生活習慣である「早寝・早起き・朝ごはん」の定着を図るとともに、日常的に運動に親しむ機会を確保し、体力の向上を目指す。
- ・教育相談体制の充実やスクールカウンセラーの活用により、児童生徒の心のケアを推進する。
- ・安全教育や防災教育の充実を図り、自らの命を守る力を育成する。

④家庭・地域との連携

- ・学校だよりや ICT を活用した情報発信を積極的に行い、学校の教育活動への理解と協力を得る。
- ・地域人材や外部講師を活用した教育活動を展開するとともに、地域とともにある学校づくりを推進する。

⑤組織的な学校運営

- ・校務分掌の平準化を図り、教職員が協働して教育活動に取り組む組織体制を確立する。

- ・対話を通じた校内研修、日常的な情報交換により共通理解を深める。
- ・業務の精選や ICT の活用による効率化を進め、働き方改革を推進するとともに、若手教員およびミドルリーダーの育成を図る。

⑤創造的復興教育～つなぐプロジェクト～

- ・地域の歴史や文化、防災に関する学習を基盤とした探究的な学びを推進する。
- ・課題解決型学習（PBL）を通して、未来を切り拓く力を育成するとともに、外部機関と連携した実践的な学習活動を展開する。
- ・学習成果を発表会や地域への発信としてまとめる機会を充実させ、学びの価値を実感させる。